

株主の皆様へ

第165期 中間報告書 2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



Contents

株主の皆様へ	1
財務諸表	3
財務ハイライト	4
TOPICS	5
会社概要／株式の状況	6
社会に役立つ広栄化学	裏表紙

100年の技術と信頼を明日へ

KOEI



広栄化学株式会社

証券コード：4367

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年6月に代表取締役社長に就任いたしました佐々木康彰です。当社の第165期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2025年度上半期のわが国経済は、インバウンド需要や個人消費の改善など景気の緩やかな持ち直しが見られました。一方で、米国の関税政策等の影響による景気後退への懸念、ロシア・ウクライナ紛争の長期化による資源・エネルギー価格の高騰と供給不足、不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした情勢のもとで、当社は、売価改定、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。しかしながら、当中間期の売上高は、欧州及び北米向けの医農薬関連製品や触媒関連製品の販売が減少したことならびに為替の影響による減収等により、72億9百万円（前年同期比24.3%減）となりました。損益面では、原料価格低減や売価改定の成果による増益要因があったものの、売上高減少に伴う数量差損等の減益要因により、営業損益は3億7百万円の損失（前年同期は6億56百万円の利益）、経常損益は3億82百万円の損失（前年同期は4億99百万円の利益）、中間純損益は2億71百万円の損失（前年同期は3億24百万円の利益）となりました。当期の中間配当金につきましては、このような厳しい業績結果となりましたことから、株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、1株につき30円（前年同期50円）とさせていただくこととしました。

通期の業績見通しとしては、引き続き事業環境が予断を許さない状況にある中で、売上高180億円、営業利益2億円、当期純利益30百万円を見込んでおります。この目標利益の確保に向けて、現在、次の3点に注力しております。1点目は新製品導入によるマルチプラントの稼働率向上です。足元の業績悪化の主な要因は、将来の成長のため実行した大型投資による固定費の増加や需要回復の遅れであることから、マルチプラントの早期収益化を最優先課題の一つとして、新製品導入・拡販等を図っています。2点目は売価改定です。原料価格高騰や為替動向等、市況の変化により価格が変動するため、これまで以上に状況変化を注視し、適時、製品価格に転嫁しています。3点目は投資の厳選と各種合理化です。気相製品において生産性向上が見込める案件は積極的に設備投資を実施しますが、その他の投資は厳選するとともに、コスト合理化、原料安価購買等を一層徹底してまいります。



代表取締役社長
社長執行役員

佐々木 康彰

一刻も早く業績を改善し、中長期にわたり企業価値を高めていくにあたって、私が最も大切にしているのが「事業は総力戦である」という考え方です。研究、製造、営業、間接部門の全社員の力を結集し、本年4月にスタートした中期経営計画『変革への挑戦 KX2027』のアクションプランを着実に実行に移して、2027年度の「売上高247億円」「ROIC8%」「社員エンゲージメント指標4.0以上」という目標の達成を目指してまいります。配当性向については、原則50%を目途に株主還元を実施する方針に変わりはなく、引き続き安定的な配当が実施できるよう取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年12月

足元の業績改善に向けた取り組み

取り組み項目	進捗内容
新製品導入 (受注タイミングの関係で余力があるプラントについて、 新製品の受注獲得による稼働率の向上を目指す)	● 新規機能性製品受注 ● 輸入原料の自製化 ● 顧客川下工程を当社で取込み一気通貫生産 ● 過去受託品を洗い出し再受託に成功
売価改定 (原料価格や為替動向等、市況の変化を注意深く確認し、 製品価格に適切に反映する)	● 既存製品 (アミン・気相) 等の採算是正
各種合理化・厳選投資 (生産予定品目の処方見直しによる生産性向上、投資の厳選 及び補修費の実施内容見直し等のコスト合理化)	● 一部気相製品の販売好調に伴い、生産性向上に向け設備投資実施 ● 原単位等コスト合理化、原料安価購買、各種費用削減の徹底

2025～27年度中期経営計画『変革への挑戦 KX2027』

3つの基本方針

① 「収益力強化」の取り組み

- 「機能製品／新規事業拡大」
マルチプラント4系列の稼働率向上



- 「基盤事業再構築」
アミン事業の競争力強化

SA再構築



国内外メーカー
との協業強化



製品
ポートフォリオ
見直し

② 事業成長加速

有機金属触媒関連製品の
事業拡大

カーボンニュートラル関連製品
開発加速

住友化学グループシナジー強化

③ 経営基盤強化

社員エンゲージメント
向上
EX

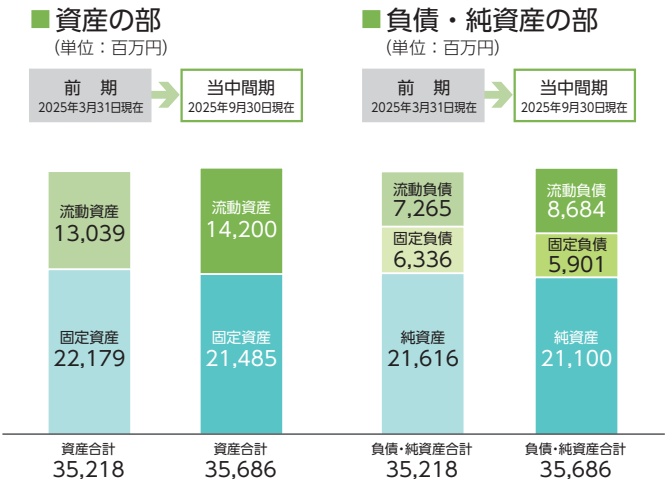
デジタル革新
DX

サステナビリティ
革新
SX

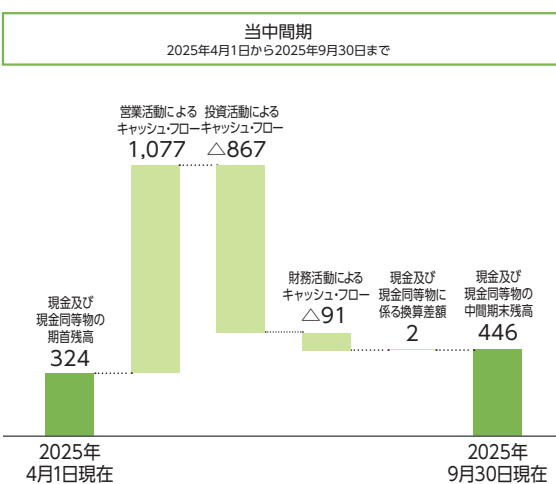
※中期経営計画の詳細につきましては、本年10月に発行いたしました「広栄化学レポート2025」でご説明しております。
本報告書と合わせ是非ご一読賜りますようお願い申し上げます。

財務諸表

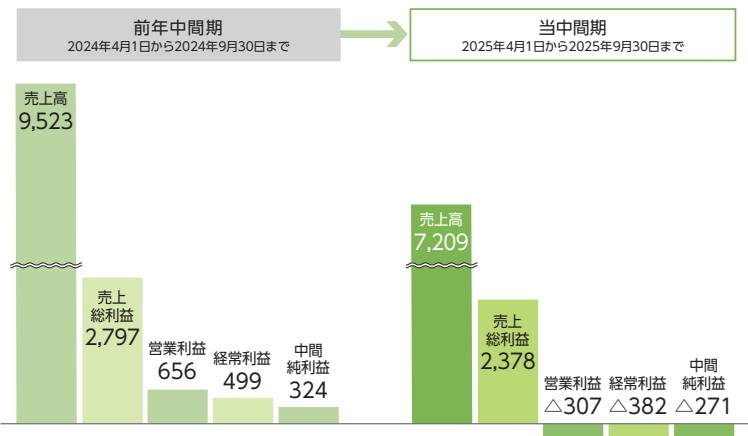
貸借対照表



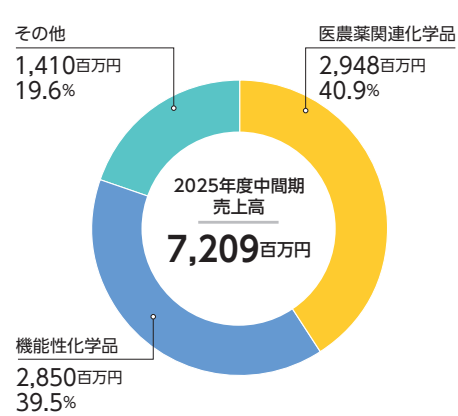
キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



損益計算書 (単位: 百万円)



製品グループ別売上高構成比



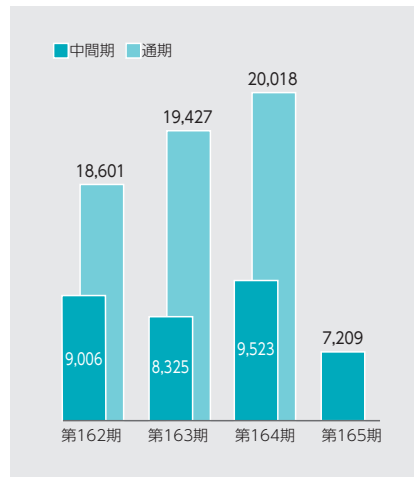
※当期から四半期繰延処理を廃止したことにより、前年中間期の各段階利益については遡及修正を行っています。

通期業績予想 2025年4月1日～2026年3月31日

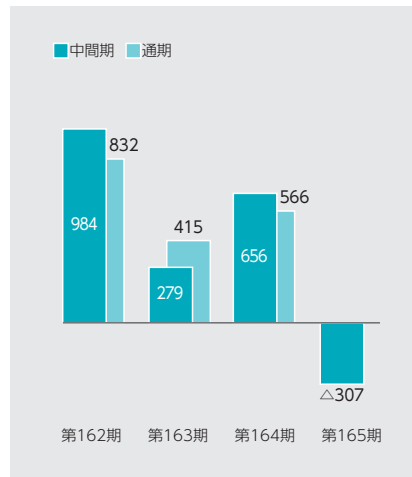
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18,000百万円	200百万円	100百万円	30百万円

財務ハイライト

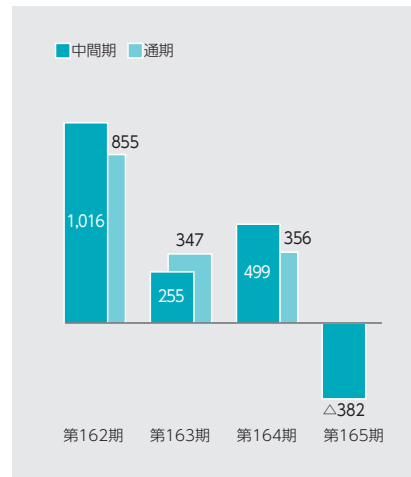
売上高 (百万円)



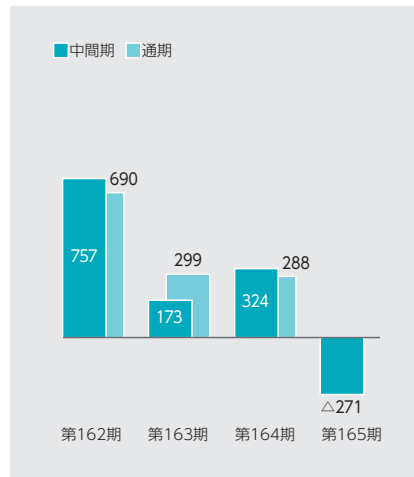
営業利益 (百万円)



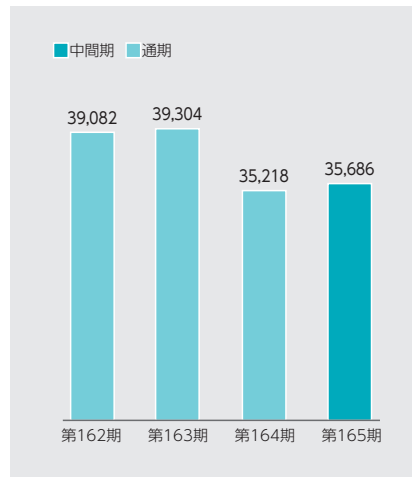
経常利益 (百万円)



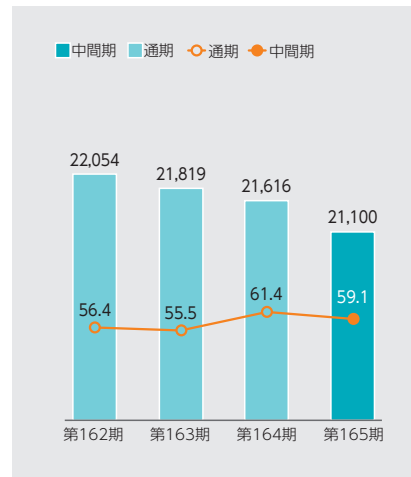
純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



自己資本 (百万円) / 自己資本比率 (%)



※当期から四半期繰延処理を廃止したことにより、第164期中間期の各段階利益については遡及修正を行っています。

株主の皆様へ

財務諸表

財務ハイライト

TOPICS

会社概要 / 株式の状況

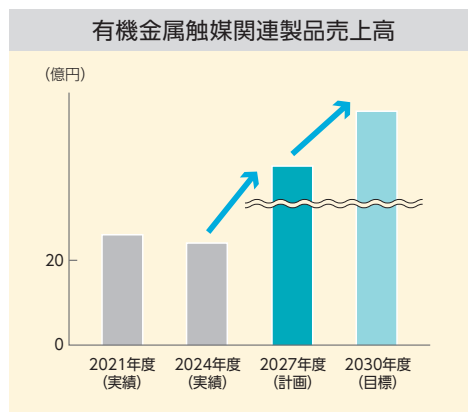
『変革への挑戦』～中長期の成長ドライバーについて

当社は、収益力や経営基盤の強化に全力で取り組むとともに、有機金属触媒及びカーボンニュートラル関連製品を中長期の成長ドライバーと位置づけ、重点的に経営資源の投入を図っています。

有機金属触媒関連製品の事業拡大

自動車や半導体などの最先端材料に使用されるオレフィン系樹脂（ハイエンドポリオレフィン）の世界市場は持続的な成長が見込まれ、その生産工程で必要とされる有機金属触媒の需要拡大も期待されています。

有機金属触媒は厳密な禁水及び禁酸素の管理が求められる製品ですが、当社は高い製造技術、安全な輸送体制を構築しています。これらの強みを活かし、高品質で安定した触媒供給を継続することで当社は国内・海外の主要顧客と良好な信頼関係を築いており、さらに次世代触媒の開発を進めています。今後はこうした新規案件の本格供給を早期に実現し、より収益性の高い事業モデルへの展開を図っていきます。

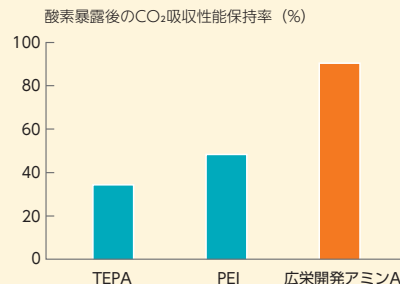


カーボンニュートラル関連製品の開発加速

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、CO₂吸収材の需要が高まっています。特に大気中のCO₂を直接回収する手法DAC (Direct Air Capture) に注目が集まっています。

当社では、CO₂吸収アミン化合物について顧客開発品の製造受託及び自社製品開発に注力しています。自社開発ではDAC向けアミン化合物を重点ターゲットに設定していますが、DAC向けはCO₂吸収・脱離性能に加えて、大気中の酸素に対する高い酸化耐性が求められます。当社は、本年5月に、これまで培ってきた精密有機合成技術と独自に構築した性能評価システムを駆使することで、優れた酸化耐性を持つアミン化合物の開発に成功し、顧客へのサンプル提供を開始しました。今後は新規化合物の開発も含め、実用化に向けて加速していきます。

当社開発アミン化合物の酸化耐性評価結果



TEPA：テトラエチレンタミン

PEI：ポリエチレンジアミン

※TEPA及びPEIはCO₂吸収材のベンチマークとして汎用的に使用されるアミン化合物です。

会社概要／株式の状況

会社概要 (2025年9月30日現在)

設立	1917年6月17日
資本金	23億43百万円
従業員数	400名（嘱託、派遣社員、出向者除く）
事業内容	医薬、農薬、塗料、染料、各種合成樹脂の原料・中間体の製造及び販売他
事業所等	東京本社：東京都中央区日本橋小網町1番8号 千葉事業所（千葉プラント・千葉研究所）： 千葉県袖ヶ浦市北袖25番地
ウェブサイト	https://www.koeichem.com/
証券コード	4367

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	16,000千株
発行済株式総数	4,900千株
株主数	3,179名

※当社は、自己株式8,980株を保有しておりますが、上記の株主数からは除いております。



レスポンスフル・ケア

実施宣言

「このシンボルマークは、「両手と分子模型」をデザインしたもので、化学物質を大切に取り扱いという趣旨を表しています。」

当社IR情報

こちらからご覧ください。



<https://www.koeichem.com/ir.html>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日
その他必要ある時は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のウェブサイトに掲載いたします。 https://www.koeichem.com/
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取買増制度について

単元未満株式(100株未満の株式)を、当社と売買いただく制度(単元未満株式買取及び買増請求の制度)がございます。売買をご希望される場合は、お近くの三井住友信託銀行株式会社の本・支店にご連絡ください。

配当金のお支払期限について

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

配当金は口座振込でも受け取ることができます。

配当金を郵便局の窓口で
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

口座振込に指定する場合

ご指定の口座に振り込まれるため、
配当金のお支払い開始日に確実に
お受け取りができ、大変便利です。

お手続きに関するお問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 証券会社に口座がない株主様は、左記に記載の電話照会先へお問い合わせください。



社会に役立つ広栄化学

当社製品は、医農薬、電子材料関連、CO₂排出削減関連や自動車関連など、社会の様々な場面で、皆さんの役に立っています。

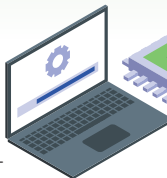


自動車関連

- 自動車用プラスチック
(ポリエチレン、ポリプロピレン等)
- タイヤコード
- 自動車エンジン用鋳型
- 電着塗料

電子材料関連

- 半導体用表面処理剤
- フォトリソグ
- ポリイミドフィルム
- 低誘電樹脂
- アルミ電解コンデンサ
- 光学フィルム用帯電防止剤



AIサーバー

- 低誘電樹脂



エアロスペース関連

- エアロスペース材料

医薬原料・中間体

- 抗潰瘍薬
- 抗結核薬
- 腎疾患、心不全治療薬
- 肺炎治療薬
- 新型コロナウイルス感染症薬
- 抗凝固薬
- 降圧薬
- 抗がん剤
- 抗生物質
- 抗不整脈薬
- 糖尿病薬
- 狭心症薬



CO₂排出削減関連

- CO₂吸収アミン化合物
- DAC (Direct Air Capture) 用CO₂吸収材
- 太陽電池用樹脂、太陽光パネルの導電ペースト

➤ 詳しくは10月に発行されました広栄化学レポートをご覧ください

https://www.koeichem.com/dcms_media/other/KoeiChemicalReport2025JP.pdf



100年の技術と信頼を明日へ

KOEI

SINCE
1917

広栄化学株式会社

東京本社
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号
電話 (03) 6837-9300 (代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙を使用して
印刷しています。